

総合的な学習・探究の時間

I 総合的な学習・探究の時間の学習目標

- (1) 主体的に課題を発見し、解決することができる力を身につける
- (2) 事象を様々な角度からとらえ分析できる力を身につける
- (3) 多様な価値観を尊重して協働できる力を身につける
- (4) 斬新かつ柔軟な発想力を身につける

II 総合的な学習・探究の時間の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	「総合的な学習の時間」 ・台東区地域行事学習 ・職業学習	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク ・地域行事主催者へのインタビュー ・地域行事のリーフレット制作（高大連携授業） ・白鷗祭でのリーフレット展示 ・地域探究発表会 ・外部人材による講演会
	2年	「総合的な学習の時間」 ・探究活動の基礎 ・職業学習	<ul style="list-style-type: none"> ・補助教材を用いた探究活動に必要なスキルの学習 ・グループでの探究学習 ・職場体験 ・探究学習中間発表会
	3年	「総合的な学習の時間」 ・探究活動の基礎（2年より継続） ・世界の諸課題 ・5年次研修旅行の企画立案	<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習発表会、およびミニ探究論文執筆 ・世界を視野に入れた現代社会課題の学び ・各自の興味に基づいた旅行プランを作成 ・旅行プラン1次・2次選考会
高校段階	4年	「総合的な探究の時間（人間と社会）」 ・5年次研修旅行コンペティション ・5年次探究論文に向けた取り組み ・探究論文研究計画書作成	<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材を招いた、旅行プランの最終選考 ・ゼミ形式での学び ・探究論文研究計画発表会 ・地域行事等の体験活動
	5年	「総合的な探究の時間」 ・探究論文執筆 ・研修旅行	<ul style="list-style-type: none"> ・本校教員をアドバイザーとした探究論文の執筆 ・探究論文発表会
	6年		

教科名 総合的な学習の時間
 科目名 **総合的な学習の時間**
 対象 1 学年全員

I 学習到達目標

- 1 活動に主体的に取り組み、課題を発見し探究していこうという姿勢を身につける
- 2 協働して物事に取り組む態度の素地を身につける
- 3 自分の意見を聞き手にわかりやすく伝えることができる

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 学校がある浅草地域をテーマに探究活動を展開する
- 2 ボランティアとのフィールドワークや高大連携授業など、校外の人材と協働して活動する時間を多く確保する
- 3 自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えるために必要なことを学ぶ時間を設ける

III 教科書・補助教材

教科書なし
 補助教材 岡本尚也「課題探究メソッドStart Book」啓林館、2019年

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿 題	なし	なし	なし	0	
	4	なし	オリエンテーション	・浅草上野の地域行事の探究活動の意義・進め方	1 2	
	5		地域行事調べ学習 浅草地域フィールドワーク	・浅草上野地区でフィールドワークを実施する		
	6		地域行事リーフレット制作	・浅草上野地区における地域行事の歴史的背景や 現状についてのお話を伺って、グループ別に課題 を設定する		
7			・神田外語大学との高大連携授業で、地域行事の リーフレットを制作する			
	夏休み 宿 題	なし	台東区子供歴史文化検定の学習	・白鷗祭での展示準備	0	
二 学 期	9	なし	台東区子供歴史文化検定	・夏休みの学習成果を検定で確認する	3 1	
	10		地域行事主催者に話を聞く	・地域行事の課題等について調査		
	11		発表準備			
	12		行事別発表 優秀チーム発表	・ポスター、またはパワーポイントで発表 ・各行事関係者からのフィードバック		
	冬休み 宿 題	なし	職業インタビュー	・身近な大人に仕事についてインタビューして、 内容をまとめる	0	
三 学 期	1	なし	職業インタビューの共有	・各自の職業インタビューを共有する	1 3	
	2			・講演の聞き方を学ぶ（P18-19）		
	3		職業講話事前学習	・仕事について具体的な話を聞く		
			職業講話 2年生発表見学	・2年生の発表を見学し、良いところを学ぶ		
					計 5 6	
評 価						<ul style="list-style-type: none"> ・活動に主体的に取り組み、課題を発見し探究していこうという姿勢が見られるか ・グループ活動等で、他者の長所を活かして協働して物事に取り組もうとしているか ・浅草上野地域や神田外語大学の方々と関わる機会を、自らの学びに活かそうとしているか ・自分の意見を聞き手にわかりやすく伝えるために必要なことを理解しているか

教科名 総合的な学習の時間
 科目名 **総合的な学習の時間**
 対象 2 学年全員

I 学習到達目標

- 1 1 年次の学びを土台として、主体的に課題を発見し探究することができる
- 2 仮説を証明するために必要なことを論理的に考えることができる
- 3 探究活動に必要なスキルの基礎を身につける

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 個人の興味関心を基にテーマを設定し、探究活動を展開する
- 2 補助教材で探究活動に必要なスキルの基礎を体系的に学ぶ
- 3 1 年間の学びのまとめとして成果発表をおこなう

III 教科書・補助教材

教科書なし
 補助教材 岡本尚也「課題探究メソッドStart Book」啓林館、2019年
 岡本尚也「課題探究メソッド 2nd Edition よりよい探究活動のために」啓林館、2021年

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト			
	4	なし	オリエンテーション	15	
	5		情報の整理 (P20-31)		
	6		問いを立てる (P32-51) 研究テーマを決める (P52-67)		
7		RQと仮説を立てる (P68-79)			
	夏休み 宿 題	なし	テーマについて事前調査		
二 学 期	9	なし	事前調査を踏まえたRQと仮説の再検討	33	
			RQと仮説の発表会		
	10 11		仮説検証に向けて		
	12		職場体験事前学習 職場体験 研究計画書の書き方 中間発表準備 中間発表		
	冬休み 宿 題	なし			
三 学 期	1	なし	調査実施	30	
	2		調査結果をふまえて考察する (P88-89)		
	3		成果発表準備 成果発表		
				計 78	
評 価					<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の学びを土台として、主体的に課題を発見し探究していこうという姿勢が見られるか ・設定したリサーチクエスションの仮説を証明するために必要なことを論理的に考えることができるか ・探究活動に必要な力を身につけているか ・社会の変化や仕事の多様性について見識を広げようとしているか

教科名 総合的な学習の時間
 科目名 **総合的な学習の時間**
 対象 3 学年全員

I 学習到達目標

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 2年次の学びを土台として、主体的に課題を発見し探究することができる |
| 2 | 1年間の研究成果を適切な形式で文章にまとめることができる |
| 3 | 5年次の修学旅行を見据えて、魅力的な海外旅行プランを考えることができる |

II 授業の進め方（授業形態等）

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 探究活動と5年次修学旅行のプラン作成を並行して進める |
| 2 | 1年間の学びのまとめとして発表とミニ論文執筆をおこなう |

III 教科書・補助教材

教科書なし
補助教材 岡本尚也「課題探究メソッド 2nd Edition よりよい探究活動のために」啓林館、2021年

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	春休み 宿 題	なし				
	4	なし	オリエンテーション	24		
	5		仮説検証計画 仮説検証			・1年間の学びに向けての流れを理解する ・2年次の検証に引き続き、仮説を証明するために必要なことを考える ・仮説検証する
	6					
7		探究論文の書き方	・探究論文で必要な項目を学ぶ			
	夏休み 宿 題	なし	ミニ論文執筆	・研究成果をまとめる		
二 学 期	9	なし	発表準備	30		
	10		研究成果発表会			・研究成果発表会に向け準備する ・研究の成果を発表する
	11		伝統文化体験 世界の諸課題			・日本の伝統的な文化を体験する ・他教科とも連携し、世界の諸課題をふまえて旅行先を考える ・旅行プランを考える際の注意点を学ぶ
	12		旅行プラン作成の注意点 旅行プラン発表（1回目）			・5年次修学旅行の旅行プランを発表する
	冬休み 宿 題	なし				
三 学 期	1	なし	旅行プラン発表（2回目）	24		
	2		TGG (Tokyo Global Gateway)			・5年次修学旅行の旅行プランを発表する ・TGGで海外研修旅行の準備をする
	3		旅行プラン発表（3回目）			・5年次修学旅行の旅行プランを発表する
				計 78		
評 価					<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の学びを土台として、主体的に課題を発見し探究していこうという姿勢が見られるか ・1年間の研究成果を適切な形式で文章にまとめているか ・5年次の修学旅行を意識して積極的に企画旅行を考えているか 	

教科名 総合的な探究の時間（人間と社会）
 科目名 **総合的な探究の時間（人間と社会）**
 対象 4 学年全員

I 学習到達目標

- 1 横断的・総合的な活動を通じて「課題設定力」、「文献調査力」、「データ分析力」の3つを重点的に育む
- 2 2学期に個別課題探究活動における適切なリサーチクエッション（研究テーマ）を設定し、3学期には検証の期間を十分に設け、5年次に執筆する個別探究論文に向けて準備をする

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 横断的・総合的な探究学習を通して自ら課題を見つけ、自ら学び、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身につけ、問題解決や探究活動に主体的、創造的、共同的に取り組む態度を育て自己の生き方を考える
- 2 前半は自分でつくる修学旅行プランを通して、5年次の個別探究論文のテーマに結び付くような課題探究活動を行う。後半は個々のリサーチクエッションを設定し、個人での検証を進める

III 教科書・補助教材

教科書なし
 補助教材 岡本尚也「課題探究メソッド 2nd Edition よりよい探究活動のために」啓林館、2021年

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	なし			
	4	なし	オリエンテーション	15	
	5		研修旅行候補国ワークショップ 旅行プラン審査（数コースを選出）		
	6		各自のテーマを深める		
7					
	夏休み 宿 題	なし			
二 学 期	9	なし	リサーチクエスチョンと仮説の設定	15	
	10		国際協力ワークショップ		
	11				
12		研究計画を立てる			
	冬休み 宿 題	なし			
三 学 期	1	なし	検証	9	
	2		中間発表		
	3				
				計 39 (1 単位)	
評 価			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、人々の関わりや協働により支えられていることに気付いているか ・問いを見だし、その解決に向けて仮説を立て、調査して得た情報を基に分析し論理的にまとめ・表現する力を身に付けているか ・地域行事や探究活動に主体的に取り組もうとしているとともに、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしているか 		

教科名 総合的な探究の時間
 科目名 **総合的な探究の時間**
 対象 5 学年全員

I 学習到達目標

- 1 横断的・総合的な探究学習を通して自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質と能力、データ分析力、日本語での論文作成力、文章による表現・伝達力を育成する
- 2 学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考える

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 個別課題探究（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・発表）
- 2 一斉授業および専門分野ごとの少人数指導

III 教科書・補助教材

教科書なし
 補助教材 岡本尚也「課題探究メソッド 2nd Edition よりよい探究活動のために」啓林館、2021年

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み宿題	なし			
	4	なし	全体オリエンテーション	15	
	5		研究計画書作成		
	6		研究計画書の振り返りと提出		
	7		調査・研究の準備 調査・研究・実験 データ整理・分析 研究のまとめ		
			・年間計画の説明 5年生の研究活動の流れ説明 ・アドバイザー発表 ・文献調査の仕方 ・研究計画書の作成に向けての指導 (よりよい研究計画書とは、研究計画書の基本構造とポイント) ・研究計画書作成 ・研究の実施(文献調査、アンケート調査など) ・研究ノートを作成する目的、記録すべきことの確認 ・調査・研究の軌道修正 ・研究ノートの作成 ・結果をまとめ、考察する (定量的、定性的なデータのまとめ方、分析方法) ・論理の組み立て方 (図・表の分析、文章などの分析、結論を導くためのロジックツリー)		
	夏休み宿題	なし			
二 学 期	9	なし	夏季研究報告書作成、発表	15	
	10		夏季研究報告書振り返りと提出		
	11		論文作成の基本		
	12		論文作成		
			・「夏季研究報告書」に基づく中間発表と準備 ・「夏季研究報告書」まとめ ・論文の作成 (論文の基本的な構成、各項目の役割・書き方) ・各個人の端末を使用して論文作成 ・アドバイザーから指導を受けながら論文作成を進める		
	冬休み宿題	なし			
三 学 期	1	なし	論文完成、発表	9	
	2				
	3				
			・各個人の端末を使用して論文完成 ・アドバイザーから指導を受けて、論文を完成させる ・論文の内容を口頭で発表する		
				計 39 (1単位)	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して課題研究へ主体的に取り組んでいるか ・出席状況や成果物の状況や学習に対する意欲や態度は良好か ・思考力、判断力、表現力などに加えて、生徒の自己評価や相互評価はどうか 				